

京都市

街路樹サポーター通信



第2号(2010年 秋)

～「街路樹サポーターの皆様へ」～

酷暑も過ぎ、肌寒さを感じる季節となりました。秋も一段と深まり紅葉のきれいな季節を迎えようとしています。

京都市では、市民や観光客の皆様には街路樹の紅葉を楽しんでいただけるように、平成21年度から紅葉街路樹「二段階剪定」に取り組み、京のまちなみ景観づくりに取り組んでおります。

サポーターの皆様には、落葉清掃などご苦勞をおかけしますが、“紅葉の美しいまちづくり”にご理解とご協力をお願い申し上げます。

・ ・ ・ 都市緑化推進功勞者表彰 ・ ・ ・

「都市緑化推進功勞者表彰」とは

京都市内において、緑化の推進など緑のまちづくりに励まれ、その業績が顕著な民間の団体または個人を「京都市都市緑化推進功勞者」として、表彰する制度です。

平成22年度は、個人一人、4団体が表彰されました。そのうち街路樹サポーターから、「北白川門掃きの会（代表：日下部節子）」が選ばれました

また、日頃の緑化推進への取組が評価され、「東桜並木保存会（代表：西田重男）」、「南桜並木保存会（代表：北村正則）」も表彰されました。（敬称略）

これからも宜しくお願いいたします！

【街路樹の落ち葉をリサイクル】

落ち葉の清掃・回収にはご負担をおかけしますが、環境保護の観点からご協力をお願いします。

写真は落ち葉用のストックヤードです。皆様に回収頂いた落葉を一時保管する施設です。



サポーターの現況

平成22年10月現在、41団体862人のサポーターに落ち葉清掃、除草、水やり等にご協力いただいております。

また、平成21年度では、約4トンの落ち葉を回収していただき、堆肥としてリサイクルを進めています。

今後とも、落ち葉の清掃・回収や街路樹の情報提供などについてご協力お願いします。

サポーターさんのご紹介

「桂坂緑水会」（桂坂本通：西京区桂坂本通～桂坂公園）、12本の街路樹を対象に、約21名で、落ち葉清掃・回収を中心として取り組まれ、道路美化・安全確保、落ち葉のリサイクルに貢献していただいています。

（今後も、認定年月日順で紹介して参ります）



ヒラドツツジの補植にもご協力頂きました

街路樹に関する主な事業

1 道路の森づくり

低木だけの中央分離帯に可能な範囲で高木を植栽する。(堀川通他)

2 四季の花みち

御池通シンボルロード(堀川通～御池大橋)の歩道に花木を植栽する。

3 紅葉街路樹

イチョウ、トウカエデなど、秋の紅葉が美しい街路樹(落葉樹)の剪定時期・方法を工夫して「紅葉街路樹」を目指す。

道路の森：中央分離帯のケヤキ



堀川通

～秋に行われたイベント紹介～

○「梅小路公園グリーンフェア 2010 秋」

梅小路公園にて毎年春と秋に開催される恒例のグリーンフェアでは、人気の「自然観察会」や「手づくり市」などの催しの他、お子さんを対象とした「キッズコーナー」や「公園で遊ぼう!」など、家族で一日楽しめる多彩なプログラムが一杯ありました。



2010年10月16日撮影

○「おいしフェスタ2010」

パブリックスペースを利用した魅力づくりを目指す「おいしフェスタ」。2006年度からスタートした取組で、沿道(堀川通から鴨川間)にオープンカフェやストリートパフォーマンス、スタンプラリーなど、御池通の歩道を舞台に花と緑に彩られた、賑やかで楽しいイベントでした。



2010年10月23日撮影

シリーズ ～街路樹紹介～ (第2回)

主な街路樹の特徴やエピソードなどを紹介していきます。

第2回は、京都で2番目に多く植栽されている「トウカエデ」を紹介します。

トウカエデは、京都市の高木約5万本のうち、イチョウに次いで多い約8千本(約17%)が植栽されている樹木です。

【特徴】

- ・ 中国原産の落葉高木
- ・ 18世紀初期に日本に入ってきました
- ・ 京都では東福寺の通天橋付近に植えられ「通天楓」とも言われています
- ・ 葉は三角状で浅く3つに切れ込んでいます
- ・ 秋に鮮やかに赤葉します



トウカエデの葉

京都市の街路樹

街路樹とは、道路法(道路構造令)に規定された道路の付属物であり、道路管理者(京都市)が設置し管理している樹木のことです。

【京都市の主な街路樹】

高木：イチョウ、トウカエデ、スズカケノキ、サクラ、ケヤキ他

低木：ツツジ、シャリンバイ、クチナシ、アベリア、ヒベリカム他



ハナゾノツクバネウツギ(属名：アベリア)

《樹木の病虫害》

～うどん粉病～

葉や莖が「うどん粉」をかけたように白くなります。風通しを良くし、発症した落葉を焼却する等の対策が予防に効果があります。

